

アルコールとヒノキの力で

抗 菌 除 菌 消 臭

サイプレスクリア

ヒノキチオール配合 除菌用アルコール製剤



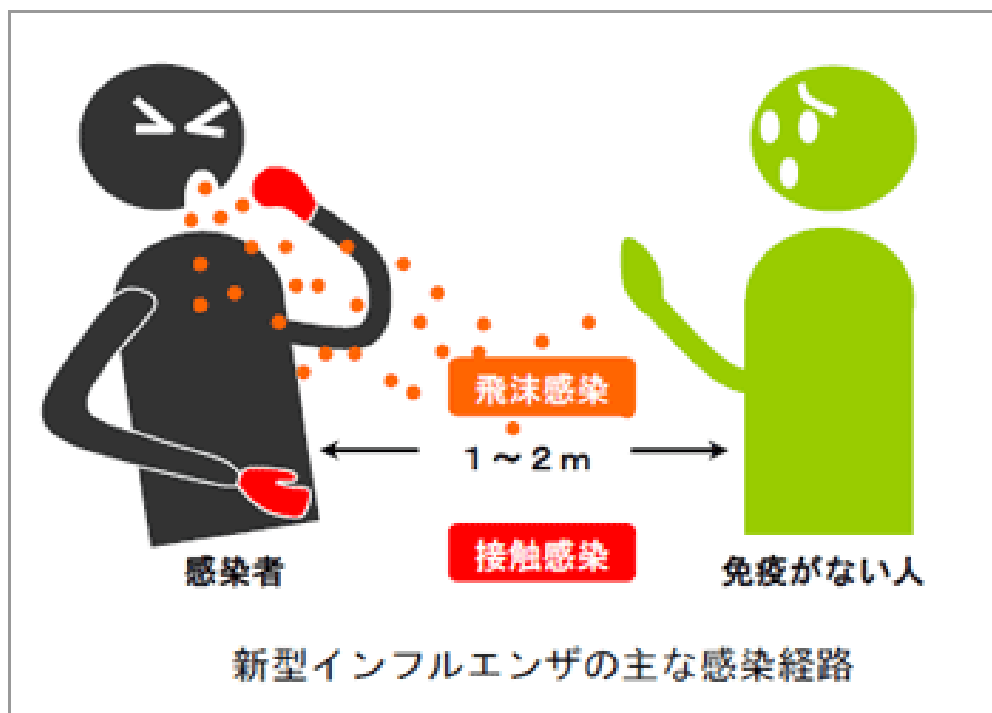
サイプレスクリアとは

- アルコールの除菌効果を生かし、アルコールでは除菌できなかった部分をヒノキチオールを使用することで、「H5型インフルエンザ、ノロウイルス、カビ、酵母」に対しても効果を確認した、新しいアルコール製剤です。
- 食品添加物アルコール除菌液(エタノール濃度78%)として、鳥インフルエンザウイルスを初め、各種細菌に対するデータ検証を実施しています。

新型インフルエンザ対策としてのサイプレスクリア

■ インフルエンザの感染経路

インフルエンザには、飛沫感染と接触感染の2種類が存在します。



飛沫感染

感染した人の咳、くしゃみ、つばなどとともに放出されたウイルスを健康な人が吸い込むと感染することがある。

接触感染

感染者のくしゃみ・咳を手で押えた後・鼻水が付着した後に机・ドア・ノブ等に触れるとウイルスが付着し、健康な人が触れた後に目・鼻・口に触れると粘膜・結膜等を通じて感染することがある。

新型インフルエンザ対策としてのサイプレスクリア

■ インフルエンザ感染の拡大を防ぐためには

1. 必要のない外出を控える
2. 外出したら、うがい、手洗いをを行う
3. 咳エチケット
 1. 周囲の人から1mはなれる
 2. ティッシュで口を覆い、顔をそらせる
 3. 口を覆ったティッシュはゴミ箱に捨てる
 4. 咳、くしゃみが出たらマスクを着用する

以上が行政が進めているインフルエンザ予防対策ですが、個人レベルでの対策には限度があり全ての人対策を行うとは限りません。

そこで、接触感染源を絶つために**消毒**の工程が必要になります。

行政も**アルコール**での消毒を求めています。

新型インフルエンザ対策としてのサイプレスクリア

■ 行政が定める消毒工程(最新版新型インフルエンザ対策ガイドラインより抜粋)

【目的】 周囲への接触感染の防止

【方法】

- ドアノブ、スイッチ、階段の手すり、テーブル、椅子、エレベーターの押しボタン、
- トイレの流水レバー、便座等清掃・消毒
- 頻度については、どの程度、患者がふれる可能性があるかによって検討するが、最低1日1回が望ましい。
- 消毒や清掃を行った時間を記入し、掲示する。

【例-1食器・衣服・リネン】

- 洗濯が不可能であれば、当該箇所にアルコール製剤を用いて消毒

【例-2壁、天井】

- 当該由来の体液が付着している場合は、当該箇所を広めに消毒

【例-3床】

- 患者の体液が存在している箇所を消毒を行う。

新型インフルエンザ対策としてのサイプレスクリア

- 行政が定める消毒工程(最新版新型インフルエンザ対策ガイドラインより抜粋)

【消毒剤】

- 次亜塩素酸ナトリウム
原液を希釈し、0.02~0.1W/V%(200ppm~1000ppm)の溶剤
- イソプロパノール
70V/V%イソプロパノール
- **消毒用エタノール**
76.9~81.4 V/V%消毒用エタノール

- 上記に準拠したアルコール製剤として

【サイプレスクリアCA-78】

- 食品添加物アルコール製剤
- アルコール**77.2~80.8V/V%**
- インフルエンザ、ノロウイルスや様々な細菌・カビ・酵母に対して効果検証済み



5リットル

準拠したアルコール製剤【サイプレスクリア】

- お酒の原料と同じアルコールを使用
- アレルギー物質を一切含んでいない
- すべて食品で使用している原料を使用
- 即効性と持続性を備えた除菌効果
- 耐水があり、水回りにも使用が可能
- 食品添加物アルコール製剤であり食品に直接使用することができ、日持ち向上も可能
- 使用後の水洗い不要



※ご購入時は
この写真5リットルが
3本1セットとなります。

従来のアルコール製剤との違い

	従来のアルコール製剤	サイプレスクリア
速乾性	◎ アルコールによる速乾性	◎ アルコールによる速乾性
即効性	○ アルコールによる効果	◎ アルコールと天然由来“ヒノキチオール”との相乗効果
持続性	× 揮発後効果を示さない	◎ アルコールと天然由来“ヒノキチオール”の効果を実定的な組成により 抗菌持続性 が可能
消臭力	△ アルコールによる分解消臭	◎ アルコールによる分解、天然由来“ヒノキチオール”の吸着消臭効果により臭いをきれいに消臭
安全性	◎ 食品に使用可能	◎ 食品に使用可能
耐水性	× 水分が多いところでの使用は、アルコール濃度低下により 効果が低下	◎ 水分が多いところで、 濃度が低下しても、高い効果が得られる
保存	○ 火気厳禁な為取扱注意	○ 火気厳禁な為取扱注意

その他の有効性データ (※データは希釈していますが、使用時は原液で使用ください)

菌・ウイルス名	効果確認機関	効果確認方法	効果確認結果	
H5型鳥インフルエンザ	京都産業大学	抗鳥インフルエンザ ウイルス効果 4倍希釈	感作時間 10分間	
	鳥インフルエンザ 研究センター		対照	10 ^{6.7} EID50/0.2ml
			サイプレスクリア 4倍希釈	- (ウイルスを完全に殺滅)
ノロウイルス	ビジョンバイオ(株)	抗ノロウイルス 効果 原液	感作時間 5分間	
			サイプレスクリア原液	- (抗ウイルス効果が確認された)
カンピロバクター	(財)日本食品分析 センター	殺菌効果試験 3倍希釈	開始時	1分後
			1.9 × 10 ⁶	<100
大腸菌 (O157:H7)	(財)日本食品分析 センター	殺菌効果試験 4倍希釈	開始時	1分後
			1.4 × 10 ⁵	<10
サルモネラ	(財)日本食品分析 センター	殺菌効果試験 5倍希釈	開始時	1分後
			4.2 × 10 ⁵	<10
MRSA	(財)日本食品分析 センター	殺菌効果試験 6倍希釈	開始時	1分後
			2.6 × 10 ⁵	<10